

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7.土木費	事業名	6.馬渡・萩山線道路改良費(市道 - 23号線)				
項	2.道路橋梁費	細事業名					
目	3.道路新設改良費	担当課・係	道路建設課 (執行課: 道路建設課)				

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	914	要 求									914
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	多彩なふれあいが広がるまちづくり/生活基盤が充実したまちづくり/市内の南北を縦断する馬渡・萩山線の整備を進						
	【馬渡・萩山線道路改良に関する業務】	施策体系コード	05-02-01-10-30			事業番号	244-1		
	都市計画道路3・4・8馬渡・萩山線のうち山王から小篠塚の区間について整備(延伸)を進める。	総事業費	70,200千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			9,200	50,000	5,000	1,000	5,000		

(事業実施に関する根拠法令)
 都市計画法11条
 道路法・道路構造令

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 都市計画道路馬渡萩山線は、既に佐倉市田町地先から山王地先までが整備済みで、市の主要な南北幹線道路である。 今後の整備として、佐倉市の交通網整備、また南部地域の交通利便性の向上を目指し、本路線の計画路線の内、山王地先から小篠塚地先までの区間を整備する。 これにより、佐倉市内から国道51号までのアクセス向上が前進する。	(事業の目的) 市の主要幹線道路整備である都市計画道路馬渡萩山線を延伸整備し、市内の交通アクセスの向上を図り、市民生活の利便性、産業振興などを図る。	(事業の効果) 市の南北幹線道路である馬渡萩山線の延伸整備により、佐倉市内と国道51号のアクセスの向上が図れる。 県道佐倉印西線の慢性的な交通渋滞、および歩行者や自転車通行者の安全通行の確保ができる。 市の南部地域での幹線道路整備の実施により、産業振興、交流活動など、地域的な活性化の推進が図れる。
(事業実施上の問題点) 他の道路整備事業の懸案事項でもある用地確保の動向。 国の交付金事業として県との協議を進めているが、これを含め財源の確保については一層の努力や創意工夫が必要である。 また、接続先である千葉県整備路線の進捗状況が今後の整備計画に大きく影響する。	(前年度からの見直し点) 道路境界未確定箇所の立ち合いに応じていただけない、地権者に概要説明した。	(見積についての特記事項) 事業の執行には、土地境界の画定が、必要不可欠である事から地権者の協力が得られるよう努める。